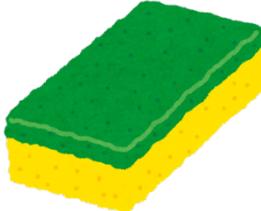


大項目	環境の把握 ①保有する感覚の活用
小項目	触覚の活用
タイトル (教材名)	押し当てゲーム
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な素材に触れ、感覚情報を受け止める力を身につける。</li> <li>・他者とのふれあいを通して、ふれあうことへの抵抗感を軽減する。</li> </ul>
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>①</p>  <p>②</p> 
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者とペアになって取り組む。</li> <li>・児童生徒の腕に缶を押し当てながら転がす。缶を押し当てるときに、児童生徒の好きな歌などのリズムに合わせて缶を動かしたり、押し当てるときに「ギュッギュッ」と声をかけたりする(①)</li> <li>・児童生徒の腕にスポンジを押し付ける。力を強めたり、弱めたり、児童生徒の抵抗がない範囲でスポンジを押し付ける(②)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腕以外にも足や顔など色々な部分に押し当ててもいいと思います。押し当てている時に表情の変化や反応を見るようにしましょう。</li> <li>・押し当てる前に、「〇〇にあてます」など声をかけることで、行動が予測できるので、触覚が過敏な児童生徒は安心できると思います。</li> <li>・押し当てている時に児童生徒の視線(動きも目で追っているか)にも注目しましょう。</li> <li>・慣れてくれば、①②以外にも、たわしやスクイーズなど素材の幅を広げていくことも大切です。</li> <li>・自立活動の他の項目との関連例          &lt;環境の把握&gt;②感覚や認知の特性についての理解と対応</li> <li>・参考文献「発達のご案内になる子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび」          ナツメ社 2015年</li> </ul>